



備前市議会だより

第41号 発行/2017. 8. 1 備前市議会 編集/備前市議会だより編集委員会 TEL(0869)64-1803



宇佐八幡宮備前焼狛犬（西片上 市指定文化財）

お も な 内 容

- * 6月定例会のようす …………… 2
- * 審議結果 各議員の賛否一覧 …………… 3
- * 一般質問要旨 …………… 4
- * 市政を問う ～12人が登壇～ …………… 5～10
- * 委員会審査のようす …………… 11～13
- * 政務活動費、議長交際費の公開ほか …………… 13
- * 議会報告会のお知らせ・編集後記 …………… 14

この備前焼狛犬は足利尊氏勧請の宇佐八幡宮（西片上）にある備前市指定文化財です。

この4月、日本遺産に認定された備前焼でつくられたものでは全国で8番目に古く、大きさも8番目とされています。

鳥居脇に阿吽の形で安置された一对の獅子は、堂々たる姿の中にも愛らしい表情で道行く人を見つめています。

6月定例会の概要

学校給食費補助を巡り活発な議論

第3回定例会は、6月5日開会され、28日までの24日間の会期中に開かれました。開会の後、議長、市長の政務報告並びに教育長報告に引き続き、田原新市長から施政方針が述べられました。会期中、提出された11議案ほか計19案件を審議しました。

定例会審議のあらまし

開会日（6月5日）には、田原隆雄新市長から平成29年度施政方針が述べられ、市政運営に対する所信が示されました。「市民主役」「教育」「持続可能」を柱に、夢の持てる住み続けたいまちをめざすとされました。

続いて、市長提出議案の説明がなされ、市監査委員（議員選出）、選挙管理委員会委員等の人事案件を議決し、本格的な定例会審議に入りました。

一般質問は、

6月14日、15日、16日の3日間で実施し、計12議員から新市長の施政方針や市政が抱える課題を質すものや、議員からの提案に対する数々の議論が行われました。（4頁、10頁に詳細記事）

16日の一般質問後に、それぞれの議案を各常任委員会に付託することを決め、詳細に審査することとしました。

最終日（6月28日）には、付託審査を終えた各議案、請願の委員会審査結果の報告の後、それぞれを採決して閉会しました。

委員長報告と議案採決

委員会で審査された議案・請願は審査結果を本会議に各委員長から報告しました。

今回、予算決算審査委員会で留

保された少数意見の報告を行った後、討論・採決を行ってそれぞれ議決しました。

最終日は、原案可決（同意を含む）9件、修正可決1件、不採択2件の審議結果となりました。

◆平成29年度一般会計補正予算（第1号）

委員会審査結果は、教育費の学校給食費補助関係予算（2千536万円）について、3月定例会で議決していた当時の修正予算（議決額6千237万円）に戻す予算増額修正でありました。継続実施可能な施策とする原案は評価に値するとの少数意見報告の後、この修正が焦点となり、6議員が討論を行った後、起立採決（賛成8反対6）で委員会修正のとおり決しました。

◎討論の要旨

■3月に議決した小中学生全員の給食費の5割負担軽減予算を、わずか3か月後に減額するのは、少子化ストップ、深刻な人口減対策の後退だ。国も考えている教育費無償化の流れをいち早く備前市でも取り入れるべきだ。

□第2子以降の補助か、全員補助かが、少子化・人口減を止める大きな要因にはならない。高齢

者施策やインフラ整備にも予算は必要で、今回の教育委員会の方針転換を支持する。

■当初、ふるさと納税を当てにせず一般財源を使った補助だと議会も了承したはず。備前市の財政状況は全国平均レベルにあり、減額の理由にならない。給食が栄養摂取の格差解消に有効との調査もあり、人口流出ストップ、流入対策になることを願う。

□ふるさと納税の見直し等、今後の財政状況を勘案して持続可能な制度でスタートさせたいという執行権者である教育委員会の考え方は一定の評価をされるべきだ。

■「すべて子どもたちのために」の精神なら、全員への給食費半額補助でないと平等ではない。財政が厳しいと言っても今やらなければならないことはやるべきだ。

□財源がふるさと納税ではないとの説明を額面どおり受け取る人はいない。選挙で市民は慎重さを選んだわけで、この身の丈に合った制度から始めるという教育委員会会議の協議結果を尊重すべきだ。

（編集委員 掛谷 繁）

議案等審議結果

予算案（平成29年度補正予算）	付託委員会	議決状況	議決形態
一般会計補正予算（第1号）	予算決算審査	修正可決	賛成多数
国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	厚生文教	原案可決	全会一致
後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	厚生文教	原案可決	全会一致
介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	厚生文教	原案可決	全会一致
宅地造成分譲事業特別会計補正予算（第1号）	総務産業	原案可決	全会一致
条例案（制定・改正）	付託委員会	議決状況	議決形態
市職員定数条例の一部改正	総務産業	原案可決	全会一致
過疎地域の公示に伴う固定資産税の特例に関する条例の一部改正	厚生文教	原案可決	全会一致
空家等対策協議会条例の制定	総務産業	原案可決	全会一致
その他議案・報告及び請願	付託委員会	議決状況	議決形態
監査委員の選任同意	—	同意	賛成多数
農業委員の少なくとも4分の1を認定農業者等又は認定農業者等に準じる者とする事の同意	総務産業	同意	全会一致
農業委員の任命同意	—	同意	全会一致
平成28年度継続費繰越計算書の報告	—	報告	—
平成28年度繰越明許費繰越計算書の報告	—	報告	—
平成28年度事故繰越し繰越計算書の報告	—	報告	—
平成28年度繰越計算書の報告	—	報告	—
選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙	—	選挙	—
物損事故の和解（報告第9号）	—	報告	—
日本政府に「核兵器禁止条約の交渉会議参加と、条約実現に努力することを求める」意見書採択を求める請願（請願第12号）	総務産業	不採択	全会一致
給付型奨学金制度改善に関する請願（請願第13号）	厚生文教	不採択	全会一致

賛否が分かれた案件に対する各議員の賛否一覧

案件	上段：会派名 下段：議員名	公明党 備前市議団		新志会			至誠会		経民会				びぜんの桜			賛成	反対
		掛谷	森本	立川	石原	星野	尾川	山本信	守井	西上	川崎	山本成	津島	橋本	田口		
監査委員の選任同意		○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	—	○	○	9	4
一般会計補正予算 （第1号）	修正案	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	8	6
	修正部分を除く原案は全会一致で可決																

【表の見方】

- 「○」は賛成、「×」は反対、「—」は表決に加わっていないことを表します。
記名投票による表決は投票賛否を記載し、起立表決においては着席者を否（反対）とみなす備前市議会の先例に基づいて記載しています。
- は討論を行った議員を示します。

一般質問の要旨

一般質問を行った12人の議員の質問内容は次のとおりです。

発言議員	質問内容	発言議員	質問内容
1 掛谷 繁	1 平成29年度施政方針から 2 専門職大学について 3 障害者に携帯の「ヘルプカード」支給の提案 4 子育てにアプリを導入し、孤立化防止へ 5 小中学校にあるAEDを屋外に移設の提案 6 教員の過重労働について	7 西上 徳一	1 一般会計補正予算について 2 内部情報流出から半年経過したが 3 スポーツ振興について 4 防災対策について 5 鳥獣被害対策について
		8 田口 健作	1 市長の今一番の想いは何でしょうか 2 市役所職員の居住地とふるさと納税について 3 廃校になっている、また、廃校になった学校の活用をどう考えていますか 4 鴻島の市道整備について 5 市内観光名所に公衆トイレを作ってほしいが 6 鹿久居島現寺湾の浮棧橋について 7 進水式の餅投げについて 8 日生保育園・日生幼稚園の認定こども園化について 9 観光大使について 10 市内・庁舎内Wi-Fi環境の整備について 11 市立3病院のカード支払いとWi-Fi環境について
2 守井 秀龍	1 施政方針から 2 教育行政について	9 山本 恒道	1 平成29年度予算について 2 環境センターについて 3 学校給食について 4 伊里駅前整備について 5 穂浪橋整備について 6 人口減について 7 国際交流について 8 市長の給料について
3 橋本 逸夫	1 ふるさと納税について 2 新庁舎建設について 3 人口減対策について 4 旧アルファビゼンの処置及び図書館建設について 5 伊部下り松の宅地造成について 6 放課後児童クラブ及び無利子奨学金制度について 7 市長室の重友選手の関連グッズの行方について		10 川崎 輝通
4 尾川 直行	1 所信表明について 2 JR赤穂線の利用促進とスピードアップ等課題解決を 3 国道2号の拡幅と都市計画道路の見直しに伴う道路整備 4 先生の働き方改革について 5 家庭教育の取り組みについて	11 立川 茂	1 市長の施政方針より「賑わいをもたらす観光の振興」について 2 教育行政の方向性について 3 「備前市男女共同参画基本計画」から 4 職員の海外駐在について
5 山本 成	1 教育について 2 ふるさと納税について 3 観光振興政策について 4 サテライトオフィス等誘致事業について		12 森本 洋子
6 石原 和人	1 市政運営について 2 施政方針について 3 「教育大綱」と「教育ロードマップ」について 4 「国土利用計画」と「都市計画マスタープラン」について 5 上下水道の整備について 6 庁舎整備について 7 市内のJR運行の現状と課題について 8 市のPRのあり方について		

備前市新市長に公平・公正な行政手腕に期待する

公明党備前市議団 掛谷 繁



備前市のビジョンについて！

経民会 守井 秀龍



平成29年度施政方針から
問 給食費の補助のあり方について、3月定例会

で給食費補助金が2分の1に減額修正された。今回の補正予算で、対象を第二子以降の子どもとし、補助も半額（6千236万8千円→2千535万9千円）にしようとする理由は。

市長 保護者の教育費負担軽減の方針には変わりないが、その後のふるさと納税の返戻率や返礼品の見直しに伴う財政状況の変化を考慮した上で持続可能な制度としたい。また、もともと『まち・ひと・しごと創生総合戦略』の中で唱っていた第二子以降の給食費無償化を検討した結果、同一世代で子ども2人以上扶養している保護者を対象に第二子目以降の子どもについて半額補助とし、支払い方法も含めて制度変更した。

問 3月の定例会では、小中学生全員の給食費無料化予算案が2分の1に

問 健全な財政運営につ

削減され、約6千200万円になった。この程度の補助金では当初の目的に到底及ばない。約2千500万円に減額しようとする給食費補助は少なくとも元通りにし、先の議決したことを実施して欲しい。
市長 そうした考えもあるが、財政負担と保護者の経済的負担軽減を考えて、このような提案とした。
問 市長公約の地区担当職員制度導入の目的などについては。
市長 地域担当職員制度は出前行政の一環としてコミュニティ活動との連携を図ることを目的に導入したい。市民と市による積極的な協働のまちづくりの推進を期待するもので、地区役員との連携や会議等の詳細は決まっていない。今後、各団体等と調整していく。担当するエリアは小学校区単位で5人程度の配置を考えている。

いて、①備前市の財政力指数は。②財政健全化の4指標は。③現状から総合的に見て大きな問題は何か。④県下の中で備前市の財政的な立ち位置は。
市長 経常収支比率と実質公債費比率がともに高いことが一番の問題である。財政健全化には市債・繰出金・経常経費の圧縮が最も効果的であるが、本市の状況では難しい。今後とも経常経費の圧縮に努めて行きたい。備前市の立ち位置はクロス表の中でも総合的に悪い状況が続いている。

財政力指数と財政健全化4指標			
①財政力指数			
H25	0.486	H26	0.483
H27	0.472		
② ¹ 実質赤字比率、② ² 連結実質赤字比率			
H25、H26、H27	数値なし(赤字でないため)		
② ³ 実質公債費比率			
H25	15.9	H26	14.0
H27	12.7		
② ⁴ 将来負担比率			
H25	67.1	H26	66.6
H27	43.9		
③経常収支比率			
H25	91.4	H26	91.2
H27	91.0		
※掛谷議員資料から			

問 新しい首長となられ備前市の舵取りを任せられました。市民のため地域が元気に市民が幸せになれるよう、また、公平

公正な政治と市民にとって安全安心が確保されましよう、力一杯ご尽力いただきたいと思います。そして、備前市の進むべきビジョンについて、どのようにお考えかお聞かせください。
市長 年度途中であり大幅な軌道修正はできかねますので、12月議会までには来年度での具体的な取組を始めます。何はさておき、元気なまちを。

問 財政状況は非常に厳しいと述べておられますが、状況はいかがでしょうか。平成27年度決算では実質公債費比率12・7%、財政力指数0・472、経常収支比率91%、財政調整基金36億6千万円で、26年度に比べ実質公債費比率1.3%改善、財政力指数1.1ポイント悪化、経常収支比率0.2%改善、財政調整基金3億6千万円増加となっていますが、
市長 実質公債費比率、経常収支比率、財政調整基金残高等の数値は県下都市の中では下位に位置しており、他市と比較しても財政状況がよいと言える状況ではありません。

問 昨年、一昨年度と小学校が統合されました。その後の児童の生活環境はいかがでしょうか。
教育長 一昨年度日生南小から日生東小へ移った児童は、新しい学校で友達もでき、しっかりと学

校になじんで勉強や運動に取り組んでいるのとことです。また、本年度から神根小、三国小から吉永小へ通学する児童は、学校訪問して聞いたところ、緊張している様子ですが、徐々に慣れ毎日頑張っているとのこと。

問 それらの学校施設の再利用について、どのように検討されていますか。
教育長 市職員で構成する跡地利用検討委員会で検討し、地域住民の意向を伺っていきます。



再利用が待たれる日生南小、神根小、三国小(右から)

田原新市長のふるさと納税返礼品の 大幅な見直しに全面的に賛成です

びぜんの桜 橋本 逸夫



問 前市長は「法律で禁止されていないことはなんでもやる」と総務省の指導に従おうとしなかった。田原市長は、ふるさと納税本来の主旨に立ち戻って、市の特産品を中心とした返礼品に見直すことに賛同する。しかし、市民の中には吉村前市長のやり方を礼賛する方も多い。あらゆる機会をとらえて説明するべきだ。

市長 総務省の担当課長が、備前市に出向き特別指導されようとするくらいに市のやり方は特異な目で見られていた。当方から出向き、見直しの方針を伝えて理解を得た。市民に向けても説明していく。

市長 これまではふるさと納税ありきのバラマキともとれるサービスクが行われてきた。これからは議員ご指摘のように事業も見直すつもりだ。

問 ふるさと納税の収益のほとんどを「まちづくり応援基金」に積立て、取り崩しながら施策を進めるということだが、将来的に金額が激減する。無駄と思われる事業にこの基金を充当すべきではないと思うが。

市長 備前市ではアンケートの回収率が低く、このような結果が出たものと思われるが、移住を希望される方の身になって増やしていきたい。

問 旧アルファビゼンの処置
市長 旧アルファビゼンには約16億円の資産価値があると信じている市民も多い。この建物が欲しい希望者がおられるようなら、タダであげてもよいのではないかと。

施政方針、人口減少問題と 旧アルファビゼンの跡地活用等について

至誠会 尾川 直行



問 オール備前市の舵取りを期待する。人口減少が大きな課題と認識されているが、国勢調査、毎月的人口動向、移住者数等の統計からの施策は。

市長 備前市の人口減少の原因は、出生者数の減少と、転入者と転出者の差が大きいことだ。出産年齢期の女性転出、安い住宅地、勤務先の都合、子どもの教育環境、公共交通等の問題があり、市役所が一丸となって取り組む。これまでの施策でよいものは継続し、見直しを要するものは縮小、縮減を行いながら、現状分析を進め対策を行う。

問 旧アルファビゼン跡地活用のスケジュールは、市民の利便性向上に老朽化した現施設は解体し、バスターミナルや図書館などの複合施設を整備したい。まずは実効性のある構想をしっかりと練っていく。新庁舎計画も進めており、整備に係る費用をどう賄うのか、この事業財源には過疎債を考慮しているが、民活の手法も視野に入れ具体的計画を策定していくことになる。

市長 赤穂線の増便やスピードアップ、イコカ設置駅舎整備など課題解決を。鉄道は「地域活性化装置」と言われます。

問 「JR発足30年」国鉄民営化でJRが誕生し、今、大きな転換期を迎えている。私たちの大切な公共交通、生活路線である赤穂線の利便性確保、新たな利用促進等の対策は。

市長 赤穂線の増便、延長運行等については応じていただけないのが現状である。利便性向上に利用者を増やすため「赤穂線利用促進する会」の活動支援、各駅ごとに「守る会(愛する会)」の市民運動を発足させ、利用促進に努め、PRもしていく。駅周辺駐車場の整備にも取り組み、JRへの理解を求め、要望を行う。I COCA(イコカ)の整備は利便性の向上に有効なツールと考え、JR、県などと導入課題解決に向け情報交換をしている。赤穂線のスピードアップは増便等の課題とあわせ要望していき、駅舎整備は随時修繕等を行うように考えていく。

明日の備前市のために

経民会 山本 成



教育について

問 「認定こども園」の整備中止との新聞報道があったが、認定こども園・小中一貫校の推進は、教育行政の中心的な事業である。今後の教育方針や予定を聞かせて欲しい。

市長 私の教育についての基本的な考え方は、基礎学力の向上と生き抜く力を育む教育・ふるさとを大切にする教育と考えており、認定こども園や小中一貫校の推進は、その手段の一つであると認識しております。

ふるさと納税について

問 田原市長になり、備前市のふるさと納税が大幅に見直されますが、8月2日から新システムが運用されると、市内のふるさと納税返礼品の事業者さんに及ぼす影響は大きいと思います。総務省からの通達に法的強制力はないのですから、もう少し期間を延ばすべきではないでしょうか。

市長 確かに、及ぼす影

響の大きい一部業者があることは事実ですが、私は市長であり、該当の方には申し訳ありませんが、備前市全体の利益を優先しなければなりません。総務省から速やかに見直し実施するよう求められており、猶予期間は認められていません。

問 今「ふるさと住民票」に取り組んでいる市町村があります。これは、自治体が、今その町に住んでない人にも必要なサービスやまちづくりへの参加の機会を提供し、お互い有益な繋がりをつくるというものです。備前市でも取り組んでみてはいかがでしょうか。

市長 大変いい提案で、私も関心を持っております。具体的にこれからのふるさと納税の中でそういうことも、ひと工夫していきたいと考えています。

観光振興政策について

問 市長は施政方針で、滞在・長期滞在型の観光

施策を述べられており、私も賛成です。しかし、備前市内を見て長期滞在的な施設があるように思えますが、何かお考えがあるのでしょうか。

市長 長期滞在施設について、備前市に宿泊する観光客が減少していることから民間の宿泊施設等も減少傾向にあると考えております。これ以上宿泊施設を減少させないためにも、長期滞在型・宿泊型観光に力を入れてまいります。民間資本によるリゾートホテル等の誘致も進めてまいります。

サテライトオフィス等

問 誘致事業について、具体的な企業名と場所が決まっていれば、報告をして欲しい。

市長 誘致に向け交渉中であることから、企業名の公表は控えさせていたいただきます。業種としてはIT関係の会社で、場所は、日生町の頭島であります。

市政運営について

新志会 石原 和人



問 これからの市政に対して思うのは、とにかく慌てず、ゆっくり行きましようということだ。全国で「待ったなし」が叫ばれる人口減少問題だが、果たして本当にそうだろうか。私には人口減少さえ抑えれば、すべてが解決するといった安易な捉え方にしか見えない。少子高齢化という言葉は慢性的な症状に、最近の備前市は、ありとあらゆる過剰な治療、投薬を続けてきたのではないか。今は、次々と薬を処方するのはなく、今後どのような治療を続けていくかの結論を導き出す時期であると信じる。

時々、愛知県長久手市のホームページから市長の言葉を拝読している。最近印象に残っているのは、中学校の卒業式での挨拶の一節で、「今ふとこんなことを思いました。2050年は超高齢人口減少社会で悲惨な時代になると思っている人も多

いけれど、私は素晴らしい時代になるはずだと。なぜなら、誰も経験したことのない人口減少社会は、これまでの脇目も振らず、山の頂上一点をめぐらした時代とは異なり、立ち止まったり、ゆっくり考えたりすることができる時代になると思うからです。誰も経験したことのない社会なので、何が正解なのか誰にも分かりません。私たち一人ひとりの考え方、行動次第できっと素晴らしい時代にしていくことができるはずです。」というものだ。どうぞ備前市でもこの4年間は、次々と新しいものを創り出し、新しいことを始めるより、今あるものを、すでに始まっていることをどうしていくのかに重点を置いていたいただきたい。今後4年間の市政運営において、最重要課題をどう捉え、どう立ち向かうのか。そのご決意を問う。

市長 「絆」「夢」「感謝」

の3つをテーマに掲げ、地域にある宝を発掘し、それぞれ切磋琢磨し、よい意味で競い合うことで元気が出るものと考えて。今後、地域担当職員制を導入し、市民と市が同じ目的に向かい、一体感を持って「市民主役のまちづくり」を進める。

問 市のPRのための経費は今年度どのくらいか。

市長 観光関係で44万円、移住定住推進で122万円、備前焼推進で1千800万円、合計2千366万円となっている。

主に大都市圏へのPR

問 主に大都市圏へのPRだと思いが、それだけの経費をかけるのであれば、視点を変えマスコミを振り向かせるインパクトのあるイベントを市内で開催するのも有効ではないか。津山市での7月のB2コンサート等をぜひ参考にしていたいただきたい。市民も楽しめ、大きなPRに繋がる事業の検討を願う。(意見発言で終了)

住吉島の樹林(県指定天然記念物)の保護について

経民会 西上 徳一



「市民が主役のまちづくり」をお願いします

びぜんの桜 田口 健作



問 住吉島の樹林で県指定天然記念物のウバメガシが、シラサギの糞で危機的な状況であるが。

市長 岡山県文化財課や環境省保全整備課等と調整して現地調査を行いましたと思います。

一般会計補正予算

問 市長は、どの政策、施策を取捨選択し、規模の縮小・縮減、取り止めのしようとしているのか。

市長 市民にとって必要なよい施策は継続し、事業の廃止・縮小等は各事業担当課と協議を行い対象者の範囲・事業効果等を勘案して、今後、決定していきたいと考えております。

内部情報資料流出から

問 市長という立場になって、この事件をどう感じているか。

市長 どのような立場であれ、正式な手順を経ずに市の内部文書が流出することは遺憾なことであると考えます。

問 どのような改善策が取られたのか。

市長 職員に対しての服務義務及び網紀の保持について通達していると思いますが、私は就任間もなく、現在のところ特に指示はしておりません。

スポーツ振興

問 総合運動公園多目的競技場について、引き続き公認を得るための改修工事の進捗状況は。

市長 8月中旬までに行う予定の第3種公認検定に間に合うよう工事を進めています。

ゴルフ場の

問 グランドゴルフ場の適地調査の際には、ドーム建設についての可能性を探っていきたいとのことであったが、その後は検討されているのでしょうか。

市長 私はそのような約束は全くいたしておりません。

総合運動公園の近く

問 総合運動公園の近くに合宿施設があれば、アスリートたちが集まるスポーツによる誘客となる。

これも「賑わいをもたらす観光の振興」の一つではないでしょうか。

市長 新施設建設につきましては、財政状況や新しい公共サービス手法を研究していく中で、今後考えていきたい。

防災対策

問 火災警報器について、モデル地区(久々井地区179世帯)の設置状況と期待される効果は。

市長 平成29年5月時点で84%までに至っております。効果については、火災発生時に家屋の焼失リスクが減少することと考えています。

防潮堤について、鶴

問 防潮堤について、鶴海地区の同道川河口では河川水と海水が合流し、防潮堤があるとは言え、県道橋梁部分の両脇から海水が流入し、付近集落への浸水が度々ある。対策をお願いしたい。

市長 ゲート設置を含め、港湾・護岸を管理している県と検討していきます。

問 市長は、議員時代に前市長に対して想いのたけを述べられていましたが、市長になられた今はいかがでしょう。また、今一番市民の皆さんのために何をされようと思っ

ていますか。

市長 厳しい財政状況ではありませんが、市民が将来に「夢」を持てる事業を創出することで、明るい、住み続けたいまちづくりを行ってまいりたいと考えております。

市役所職員の居住地

問 市役所職員の居住地の市内市外の割合はどうなっていますか。また、市外職員のふるさと納税をして下さっている割合はどうなっていますか。

市長 市内353人、50・3%、市外341人、49・1%です。ふるさと納税については調査をしていますが、就任あいさつ時にも職員に協力をお願いをしています。

問 廃校になつて、また廃校になった学校の活用をどのように考えて

いますか。

市長 行政財産から普通財産に移管しなければ何も前進しないと考えております。地域住民の意向やニーズも踏まえて、本事業や地域での活用、また、民間事業者による活用などを検討してまいります。

問 鴻島の市道整備について、どのように考えていますか、本村から亀の浦に向かう道路はかなり傷んでいます。

市長 必要性や緊急性に応じた対応をしていく必要があると認識しております。老朽化が進んでいることから地域住民と協議を行い、適切な維持・更新に努めます。

市内観光名所に公衆

問 市内観光名所に公衆トイレが不足していますので、トイレを作りたい。例えば頭島タヌキ山展望台であるとか。

市長 観光客誘致には重要な施設であると考えております。

問 新設もお願いしたい

のですが、既存のトイレについての改修もしなければいけない所もあると思います。いかがでしょうか。

市長 三石の深谷については、改修を計画しております。



観光客に一番人気のトイレ (鹿久居島)

問 今年、二隻の船が進水式による餅投げを行いました。昔は、数多くの船が餅投げがありました。最近では珍しいことです。日生町時代にはお祝いに旗を贈る等していかの祝いをしたらいかがでしょうか。

市長 持続的な海運業の振興のため、船員の確保・育成などの取組に支援を行っていくことは重要であります。

伊里駅周辺の施設整備を 早急に進め環境改善を行うべき

至誠会 山本 恒道



問 伊里駅前のロータリー、駐車場、自転車置場などの整備計画の話があったが、その後整備計画はどうなっているのか。

市長 当初、駅前をロータリーにするものであったが、岡山県交通規制課との協議で道路構造令に基づき、計画どおりの整備は不可能とのことで、計画の見直しを関係機関と再協議を行っており、協議が整えば整備を行う。トイレは直ちに修繕をしたい。

**生ごみ減量に
コンポスト無料配布を**
問 環境センターは、焼却炉等の維持管理に1年に3千万円ほどかけて行っている。生ごみの処理を各家庭で行い減量化により焼却炉の延命を図り、管理費用を削減するため生ごみ処理器(コンポスト)を無料配布すべきで

ある。

市長 容器の普及は生ごみの減量化に繋がると認識している。現在、生ごみ処理容器購入補助金交付要綱により、コンポスト容器について3千円を限度として1世帯2基まで補助しており、購入者の負担は千円未満の負担で購入できている。今年度から、段ボールコンポストキットを補助対象とし2千円を限度として1世帯2基まで補助対象としている。

給食費補助の変更理由
問 学校給食補助金(市学校給食会補助金)について、平成29年当初予算案では給食費の全額を補助する提案があったが、議会でその半額に修正し議決された。にもかかわらず、今回は第二子以降の児童生徒を対象として半額補助することだが、支出を抑える目的で一人っ子の家庭などへの補助に制限を設けることは当初予算の決定とは

異なり、平等に支援すべきである。
教育長 ふるさと納税の返戻率、返礼品の見直しによる財政状況の変化を考慮し、同一世帯で子どもを2人以上扶養している保護者を対象に、第二子目以降の子どもについて半額補助とした。刻々と状況は変わり、財政状況を確認して進めたい。

まちづくり部長 迂回路として市道伊里5号線の

**穂浪橋整備に
市道伊里5号線を拡幅**
問 穂浪橋の改良整備工事が進んでいないが、元伊里農協から南に伊里駅前、穂浪橋東の市道を拡幅し穂浪橋の改良工事を行っては。

拡幅は、現道が伊里川の護岸でもあり、軟弱地盤対策も含め大型L型擁壁で約1キロを整備する計画とした場合、事業費は約10億円以上になると想定できる。橋梁点検結果を待ち、今後県に対応を要望していきたい。

「すべては子供たちのために」必要なことは 教育費の完全無料化の実現です

経民会 川崎 輝通



**少子化対策は、
子育て支援で**

問 本年度予算は、小学生全員の給食費負担を半額にする予算が決まっていたが、第二子から半額にするという後退した補正予算の提案だ。市長も議員時に賛成した予算を3カ月で縮小する政治姿勢は問題である。もっとよい支援策があるのか。

市長 学校給食費の無償化は、段階的に推進していく方針です。今後は、家でも学校でもない「第三の子どもの居場所づくり」など貧困対策を含めた施策に取り組みます。

観光施策の充実を
問 ノリナハレ号の5月末までの乗客数は何人か。

市長 延べ乗客数は1千969人です。なお、市外の観光客数は把握していません。

問 日生諸島のよさを宣伝する機会であり、9月末まで無料運航を続けるべきだ。

まちづくり部長 6月からは予約制での有料貸切運航としています。料金は1時間4万5千円で、30分毎に1万円追加、1日の貸切は15万円です。
備前♡日生大橋の活用を
問 開通して2年が過ぎたが、諸島の活性化のための開発計画はあるのか。

市長 インフラ整備により民間企業による開発の話が出てくるものと期待しています。また、早急に関発構想を立てます。また、既存の施設や地域資源を活用して島の活性化に繋げていきたいと考えています。

問 頭島にサテライトオフィスが計画されるとのことだが、特に鹿久居島の開発が重要である。
市長 南小学校跡へのオフィス誘致を考える等、市長のトップセールスで個々に誘致を積極的に行います。

**地域担当職員制度
導入について**
問 この制度は、日生町の時に実施されていたが、廃止された経過があるのではないか。
市長 日生の制度をそのまま導入するものではありません。この度は出前行政の一貫として、コミュニティ活動との連携を図ることを目的に導入します。現在、制度設計の段階ではありますが、担当エリアを小学校区単位とするよう検討しており、各エリアには、5人程度の職員配置を考えています。地域担当職員の負担を考慮し、職員間の公募などにより決定したいと考えています。



学校給食の様子

施政方針・教育行政・男女共同参画計画・海外駐在について

新志会 立川 茂



市政について

公明党備前市議団 森本 洋子



本年度施政方針「賑わいをもたらす観光の振興」について

問 「備前焼の日本遺産認定を最大限活用してPR活動を行う」とありますが、何かイベントの企画はありますか。長期滞在型・宿泊型観光推進の秘策は、閑谷学校や市内の隠れた観光地とのコラボ企画やストーリー性のある企画を考えてはいかがでしょうか。

市長 備前焼をテーマとした漫画「ハルカの陶」の劇場公開映画への制作協力を企画しています。宿泊施設は既存の施設等関連機関と研究、協議します。市内の隠れた観光スポットとして和意谷池田家墓所、熊沢蕃山邸跡等を取り入れた内容にできればと考えています。

問 長期滞在型観光推進へ古民家、空き家等を利用し、合宿の誘致等考えられないか。

市長 前向きに検討してまいります。

教育行政について

問 地方教育行政法の改正でコミュニティスクール（地域運営学校）設置が努力目標とされました。これへの見解及び対応への方向性を伺います。

教育長 子どもの育ちと地域活性化に効果があり、学校支援地域本部事業や小中一貫教育の取組は地域と学校が連携するという点でコミュニティスクールと多くの共通部分があるので、自然な流れで導入できればと考えています。



問 複雑多岐に渡る教育現場や新規施策への対応として、条例制定すれば可能となる教育委員の増員をすべきでは。

教育長 教育委員の増員はあり得る選択肢です。

市長 検討したい。

「備前市男女共同参画基本計画」から

問 市民意識調査によると「安心して子どもを産み育てることが出来るまち」と答えた人は42%と前回調査比3倍であった。その要因は。また、家族介護支援クーポン券交付事業の拡大はあるのか。

保健福祉部長 これまでの施策が評価されたものと考えているが、具体的分析はできておりません。家族介護支援クーポン券交付事業は在宅介護で低所得世帯が対象で、事業の拡大は考えていない。

職員の海外駐在について

問 職員が海外駐在する計画があるとのことですが、進捗状況と期待する効果について伺います。

市長 派遣先は自治体国際化協会（通称「クレア」）。駐在先はフランスのパリで閑谷学校の世界遺産登録運動に資することとしますが、政策の優先度を考慮して中絶を決定した。

認定こども園について

問 日生地域では、4、5歳児になると、それまで保育園に在籍していたも幼稚園に入るといいう保護者間での流れが昔からある。就学前に幼稚園教育を受けるという理由だと考えるが、保育園に残りたくても残れないという現状があり、悩まれている保護者からの相談もあつた。幼稚園の老朽化の整備に反対するものではないが、現在の状況を改善するには、早期にこども園整備を考えるべきであると思うが。

市長 日生地域の認定こども園は白紙ではない。先に幼稚園の老朽化を整備していく。こども園の名称にこだわる必要はない。

男女共同参画について

問 平成29年3月に「第3次備前市男女共同参画基本計画」が策定。策定の趣旨には、「仕事と生活の両立のために必要な環境の整備や政策・方針決

市民生活部長 女性委員比率の目標が達成できなかった要因の一つは、委員構成や選任方法の見直しが十分でなかったことが考えられる。しかしながら、第2次基本計画策定時の女性の登用率27・3%からは約5ポイント上昇しており、一定の成果が出ているものと考えられる。

問 DV防止基本計画について。2014年の岡山県の調査では、DV相談件数は増加傾向で、年間約4千件。そのうち、

定過程への女性の参画が、十分に進んでいない状況。配偶者からの暴力被害が深刻化しているなど、新たな課題にも引き続き取り組みが必要と」明記されている。

平成28年度4月現在での審議会等の女性委員比率は、32・1%で目標は35・0%で、平成33年度までには38・0%とする目標。どのように取り組んでいくのか。

どこにも相談しなかった被害者が、全体の67・5%という状況。実際は相談件数の何倍の方がDV被害を受けているとも言われている。備前市からDV被害をなくすためにも、市として、もっと取り組み姿勢を示していくべきではないか。市長はどのようにお考えか。

市民生活部長 「男女間のあらゆる暴力の根絶」を「備前市DV防止基本計画」と位置付け、DVの根絶、及び被害者の支援に取り組んでいく。なお、被害者への支援を第一に考えながら、備前市において、DV被害をなくすために必要な支援や対策について、先進地の事例等を調査・研究していく。



総務産業委員会

6月19日に委員会を開催し、付託議案4件及び請願1件の審査を行いました。議案等に対する主な審査の内容は、次のとおりです。

《主な議案の審査》

■議案第60号

宅地造成分譲事業特別会計補正予算(第1号)

つつじが丘団地の造成工事8区画に伴う費用4千万円を計上したものです。

■議案第64号

市職員定数条例の一部改正

本年4月の機構改革に伴い、市長部局のうち、保育園・認定こども園が教育委員会の所管に移管したことに伴うもの。委員からは、放課後児童クラブとまなび塾も含めて、子育て支援、教育等、分野別についても協議・検討してもらいたいとの意見がありました。

《請願の審査》

■請願第12号

日本政府に「核兵器禁止条約の交渉会議参加と、条約実現に努力すること

を求める」意見書採択を
求める請願

継続審査としていたが、請願事項は3月から国連本部で開催される交渉会議に参加するよう求めるものであるため、時間的な問題もあり、不採択と決しました。

《報告事項》

■空き家等実態調査結果

市内の建物数は3万1千164件。そのうち空き家等件数は1千924件。老朽度・危険度をランクA～Eまでの5段階で判定。ランクD(建物全体に危険な損傷が認められ、放置すれば倒壊の危険性が高まると考えられる)・ランクE(建物全体に危険な損傷が激しく、倒壊の危険性が考えられる)を合わせると216件あり、順次、撤去の案内を郵送しているとの説明されました。

■日本遺産「きつと恋する六古窯―日本生まれ日本育ちのやきもの産地―」

6市町において、シリアル型で申請。本年4月認定。6月21日に六古窯日本遺産活用協議会の設立総会を開催。今後は補助金を活用し、情報発信・人材育成・普及啓発・周辺環境の整備を進めていくとの説明。委員から

は、備前市以外の5市町の窯元の状況や祭り、年商等の情報提示をするよう求めました。この12月に越前町で日本遺産認定記念サミットを開催予定との報告もありました。

■映画「ハルカの陶」

報道があった映画の企画が説明されました。委員からは、制作費について質し、制作費3千万円の資金は、映画製作側で企業等に協賛を求めて調達されるが、市にも協力要請があり、協力金約500万円を考えているとの説明がありました。(委員長 山本恒道)

厚生文教委員会

6月21日に委員会を開催し、付託議案4件と請願1件の審査を行った結果、4議案はいずれも全会一致で原案のとおり可決しました。また、請願第13号は、不採択にすることに決まりました。主な審査の内容は、次のとおりです。

《主な議案審査の内容》

■議案第57号

国民健康保険事業特別会

計補正予算(第1号)

委員からは、予算化するコンビニ収納システムで収納率はどれくらい上がるかの質問があり、目標値は設定してないが、0.2～0.3%のアップを想定しているとの答弁がありました。

■議案第65号

過疎地域の公示に伴う固定資産税の特例に関する条例の一部改正

この条例の改正点は、固定資産税の減免対象となる事業者が「情報通信技術利用事業」から「農林水産物等販売業」に変更されるもの。委員からは、農林水産業等とは、どのような事業者を言うのか、見込み減税影響額を積算しているか、改正前の情報通信技術利用事業に当たるコールセンター業は市内に該当があったか等の質問あり、執行部からは、過疎地域内で農産物を加工した物を販売する事業者が減税対象となるとされました。コールセンター業で減税適用された事業者は市内に該当はなかったと答弁されました。

《報告事項》

◆教職員の働き方改革プラン

岡山県教委が示した教職員の働き方改革プランでは、教職員の心身の健康保持による教育の質の向上と児童生徒の豊かな成長を目的に、現在、月平均64時間(小学校)、87時間(中学校)の時間外業務を25%削減することを目標にすると報告されました。

◆日生幼稚園改修工事計画

改修は、建築工事と電気・機械設備工事で、耐震基準に合うようテラス部分や室内吊天井、保育園側との通路や中廊下の改修、電灯や火災報知設備、園児や職員用トイレの洋式化改修を行うと報告されました。

◆伊部地区幼保一体型施設

(伊部こども園)の状況
建物の計画図面(左図)が示され、開園は平成31年度となると報告されました。



計画建物外観図(伊部こども園)

(委員長 掛谷 繁)

予算決算 審査委員会

6月23日、委員会を開催し、付託された一般会計補正予算の審査を行いました。今回も分科会方式を執らず、全体委員会での集中審査としました。

《審査の主な内容》

■一般会計補正予算（第1号）

今回の補正予算は、4月の市長選後に調製された予算で、新市長の施政方針に基づき、これまでの良い施策は継続し、見直す必要があるものは規模の縮小・削減、取り止め等の取捨選択しながら、持続可能な行政の仕組みづくりに取り組む中で補正したとされました。

審査の中で、大きく取り上げられたのは「学校給食費補助」関係予算でありました。3月定例会では、全児童生徒（約2千140人分）の給食費を一律無償にする予算を半額（約6千237万円）に議会が修正していました。今回、財政状況を勘案して、さらに第2子以降の

子どもに対象を絞り、給食費の2分の1を補助する予算額（約2千536万円）に減額し、児童生徒の保護者に交付する提案となっていました。

- ◆学校給食の補助関連費
- ・小学校費・教育振興費（1千467万5千円増）
- ・中学校費・教育振興費（1千68万4千円増）
- ・保健体育費・学校給食費（6千236万8千円減）

委員からは、3月議会では、全額一律無償化は認められないが、半額程度の予算は認めるとしたばかりで、子育て支援の後退だとして、前回の議決のとおり、全員に給食費の2分の1補助できる額に戻す修正案が提出され、賛成多数で可決されました。また、少数意見として、財政状況の変化や継続実施可能な施策とすることは評価できると提案どおり原案に賛成する意見の留保がありました。

これらは、本会議で報告された後、委員会決定のとなり、修正可決となりました。

《その他補正内容》

- ◆グループタクシー利用補助金（1千132万円増）
- 申請が当初予定を超過しており、年間2千900件に見込みを補正したものの。
- ◆サテライトオフィス等誘致事業補助金（1千万円）
- 頭島所在の民有建物にIT関連事業者が事務所設置するため、県からの補助金

市役所庁舎 建設に関する 調査特別委員会

6月5日、28日開催した委員会で、建替える新庁舎の規模や事業費について、

- （500万円）を得て補助するもの。備前市初の誘致。
- ◆観光関連事業費（1千293万9千円）
- 六古窯日本遺産活用協議会負担金（500万円）や夕立受山トイレほか各所観光トイレの改修等。
- ◆道路新設改良費（9千326万円）
- 市内各所の道路改良や舗

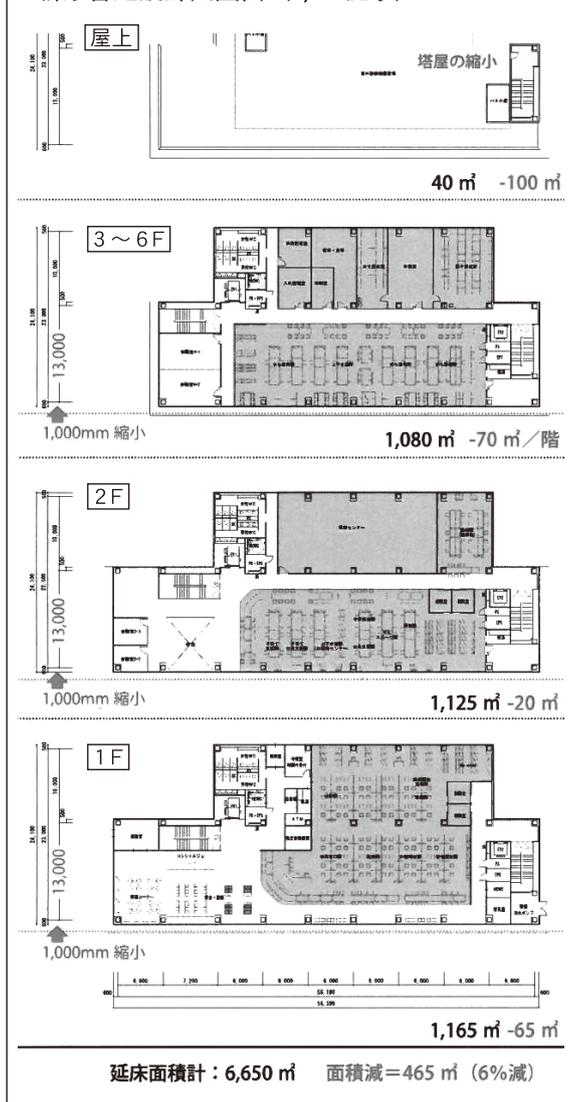
調査研究しました。委員の意見を受けて、当初計画の6階建て庁舎本体7千115㎡（延床面積）と交流施設等（コラボ備前）の建物600㎡を見直し、庁舎本体のみの6千650㎡（▲6%程度）に面積を減じ、交流

- 装を行うもので、市内22路線が計画されている。
- ◆小学校費・学校建設費（1億7千506万9千円）
- 片上小学校大規模改造事業の工事請負費ほか。
- ◆中学校費・学校建設費（1千106万9千円）
- 日生中学校大規模改修に係る設計を行う委託料。
- （委員長 橋本逸夫）

施設建築を見送る計画変更が市側から示されました。総事業費は、以前の46億8千500万円から42億1千500万円に規模を縮小する案となっており、委員会として大筋で了承しました。

（委員長 守井秀龍）

新庁舎建設計画図面（6/28提示）



旧アルファビゼン盗難 事件調査特別委員会

6月28日に委員会を開催し、証人出頭に関する対応を協議しました。

本件は、法に照らして慎重な対応を行っており、事前に正副委員長で該当人に直接事情を伺った際、入手した書面を委員会調査の参考に資すべきものとし、これまでの調査とともに取りまとめしていくことを決定しました。

(委員長 橋本逸夫)

平成28年度 議長交際費の公開

備前市議会では、議長交際費の支出状況を公開し、透明性の確保に努めています。市ホームページでは、支出項目の明細など、月毎の状況もご覧いただけます。

慶弔関係	5万円 (5件)
渉外関係	9万9千679円 (8件)
うち訪問記念品	8万39円 (5件)
カンパ金	1万円 (2件)
その他	9千640円 (1件)
合計	14万9千679円 (13件)

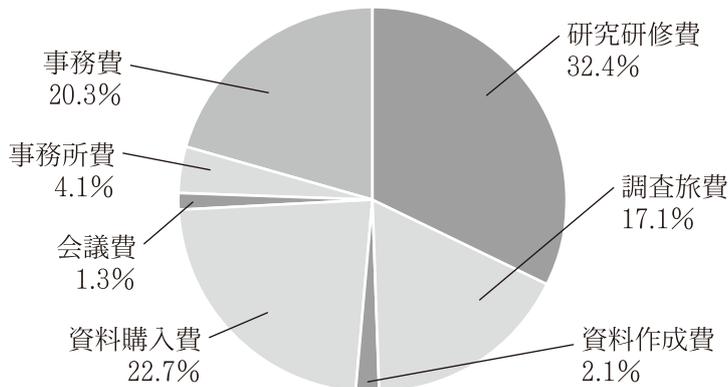
平成28年度 政務活動費を公開しました

平成28年度政務活動費は、交付を受けた議員16人から収支報告書の提出があり、議員一人ひとりの明細書・領収書、使途状況を議会運営委員会で審査したうえ、市長に報告しました。

これらの関係書類は、市ホームページで議員毎の収支報告とともに執行状況を公開しています。

また、議会事務局では、領収書の写しを含め報告書をご覧することができます。

政務活動費使途割合



交付額	4,800,000円 (1議員年30万円限度)
決算額	4,696,203円
返還額	717,301円
自己負担額	613,504円

お知らせ

市議会内での議員異動等がありました。

川崎輝通議員

厚生文教から総務産業委員会に所属変更

経民会に会派所属

守井秀龍議員

市役所庁舎建設に関する調査特別委員会委員長に就任

津島 誠議員

備前市監査委員(議会選出)に就任

次期定例会の日程

◆ 9月6日(水)

開会・諸般の報告・議案等上程

◆ 9月13日(水)～9月15日(金)

一般質問

◆ 9月15日(金)

議案質疑・委員会付託

◆ 9月19日(火)～26日(火)

各常任委員会・各特別委員会

◆ 9月28日(木)

委員長報告・議案等採決・閉会

※予定は変更される場合があります。

詳しい日程は議会事務局まで

☎ 0869-64-1803

傍聴にお越しく下さい

平成29年度 議会報告会・意見交換会のご案内

8/23 (水)

19:00~20:30

吉永地域公民館 (吉永町三股)

参加予定議員／掛谷 繁・西上徳一・津島 誠・守井秀龍
立川 茂・森本洋子・橋本逸夫副議長

8/24 (木)

19:00~20:30

リフレッサー (伊部)

参加予定議員／掛谷 繁・西上徳一・津島 誠・守井秀龍
立川 茂・森本洋子・橋本逸夫副議長

8/25 (金)

19:00~20:30

日生防災センター (日生)

参加予定議員／山本恒道・山本 成・田口健作・川崎輝通
尾川直行・星野和也・石原和人・鵜川晃匠議長

8/26 (土)

19:00~20:30

市民センター (西片上)

参加予定議員／山本恒道・山本 成・田口健作・川崎輝通
尾川直行・星野和也・石原和人・鵜川晃匠議長

開催要領

議会報告会は、市議会から市政課題報告を行うとともに、参加者と議員との意見交換を直接対話形式で行うものです。

- 議会報告 市政課題について審議状況や議決内容を簡潔に報告します。
報告事項 上下水道について・子育て支援について
- 意見交換 参加者と議員との意見交換を偏重のないように行います。
- 参加は自由 どの会場へも参加できますので、多数のご来場をお待ちしております。

備前市議会のホームページへは <http://www.city.bizen.okayama.jp/>から



編集後記

暑中お見舞い申し上げます。
議会だより編集委員が本号から交代いたします。どうぞよろしくお願
い致します。

この度、市長も交代となり、備前市がますます進歩発展、「住みよいまち」「教育のまち」となるよう議会も役割を再認識し活動してまいります。議会と首長が切磋琢磨する二元代表制の実践、議会は自治体の意思決定機関という役割を自覚し、不断の努力を続けてまいります。「議会だより」も皆さんに関心をいたたくよう誌面の充実を図ってまいりますので、多くのご意見、ご提言などをお寄せください。

(編集委員 尾川直行)

